岡山市 文学と福祉をつなぐ試み

2023年～2025年

背景・経緯

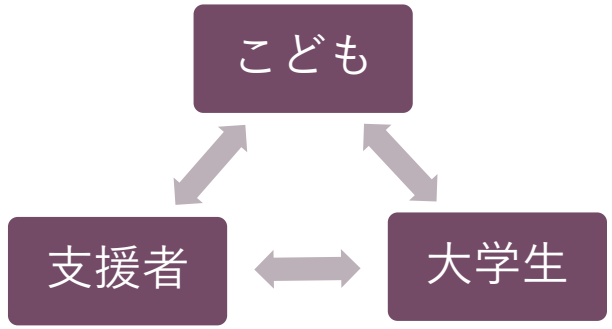
2023年「ユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野」に加盟を目指す岡山市が、文学と福祉の連携事業の実施を目指し、岡山市、岡山市文学賞運営委員会、ノートルダム清心女子大学の協働事業として位置付ける。岡山聖園子供の家と連携し、読みあいの取組み「よむよむふむふむプロジェクト」を開始。

理念

文学は、かなしみの中にあって、生を照らしてくれる。

目標

児童養護施設「岡山聖園子供の家」を「表現の家」に育てていく。
ケアの循環をはかる。



児童養護施設　岡山聖園子供の家の概要

社会福祉法人みその児童福祉会　岡山支部

定員46名

沿革　2010年度に仁愛館において小規模グループケア（6人の生活単位）を開設。

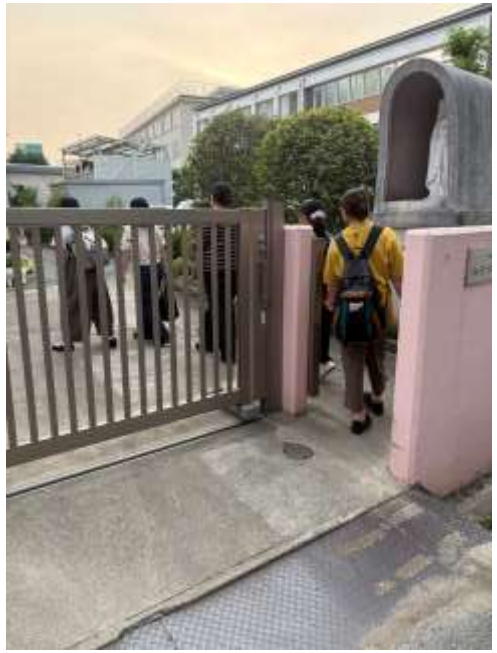
「個別ケア」を意識した養育の取り組みをすすめ、近年は、子どもとともに暮らし
を創るスタイルを確立すべく努力を重ねている。

児童養護施設入所理由　虐待、放任、保護者の不在、経済的困窮、家庭環境の悪化など

複数の要因が複雑に絡み合っている場合も多い

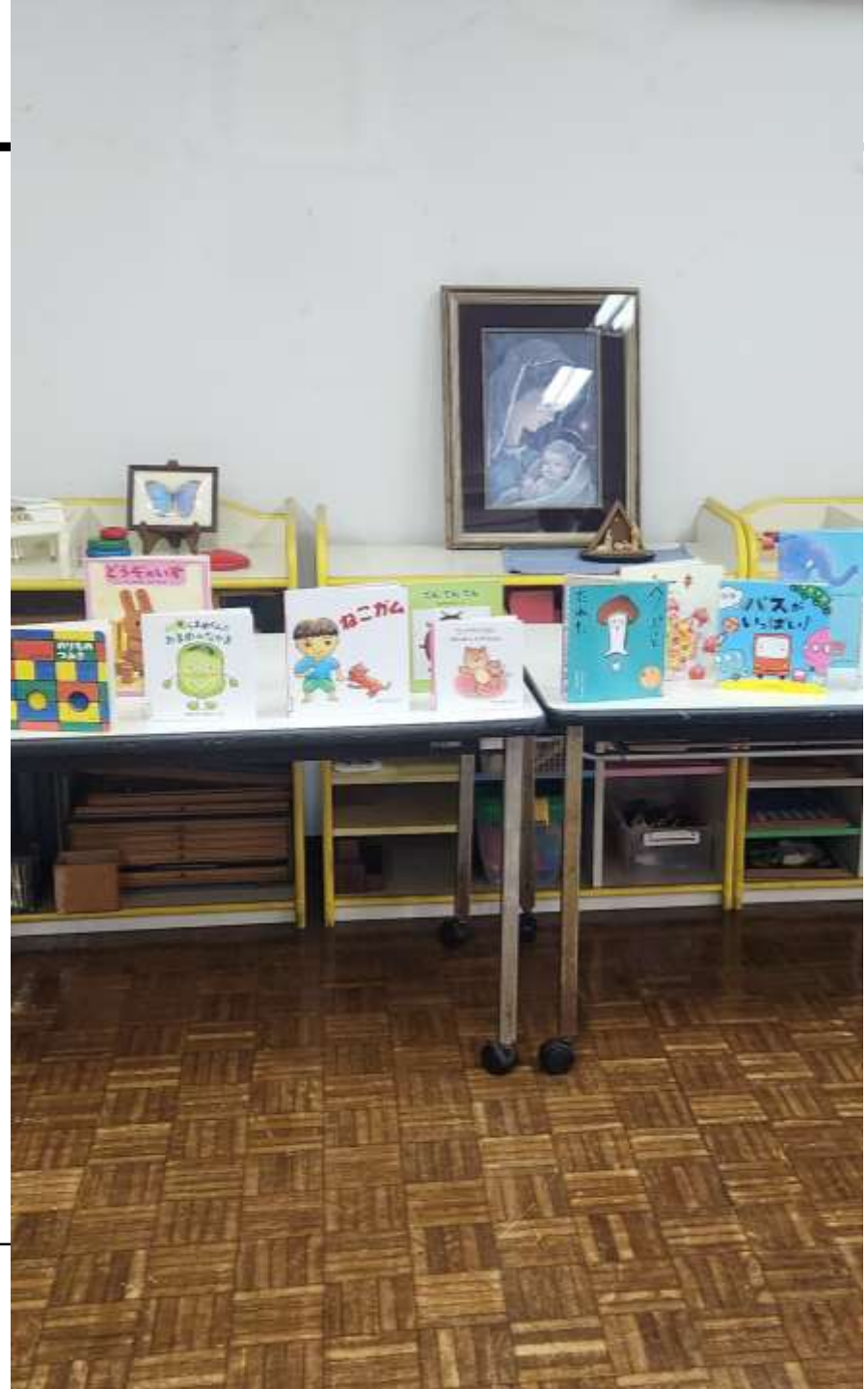
よむよむふむふむプロジェクト（2週間に1回／18:30〜19:30）

- 幼児チームと小学生チームに分かれて実施。
- 文学を通して「こころをひらく時間」をつくる。

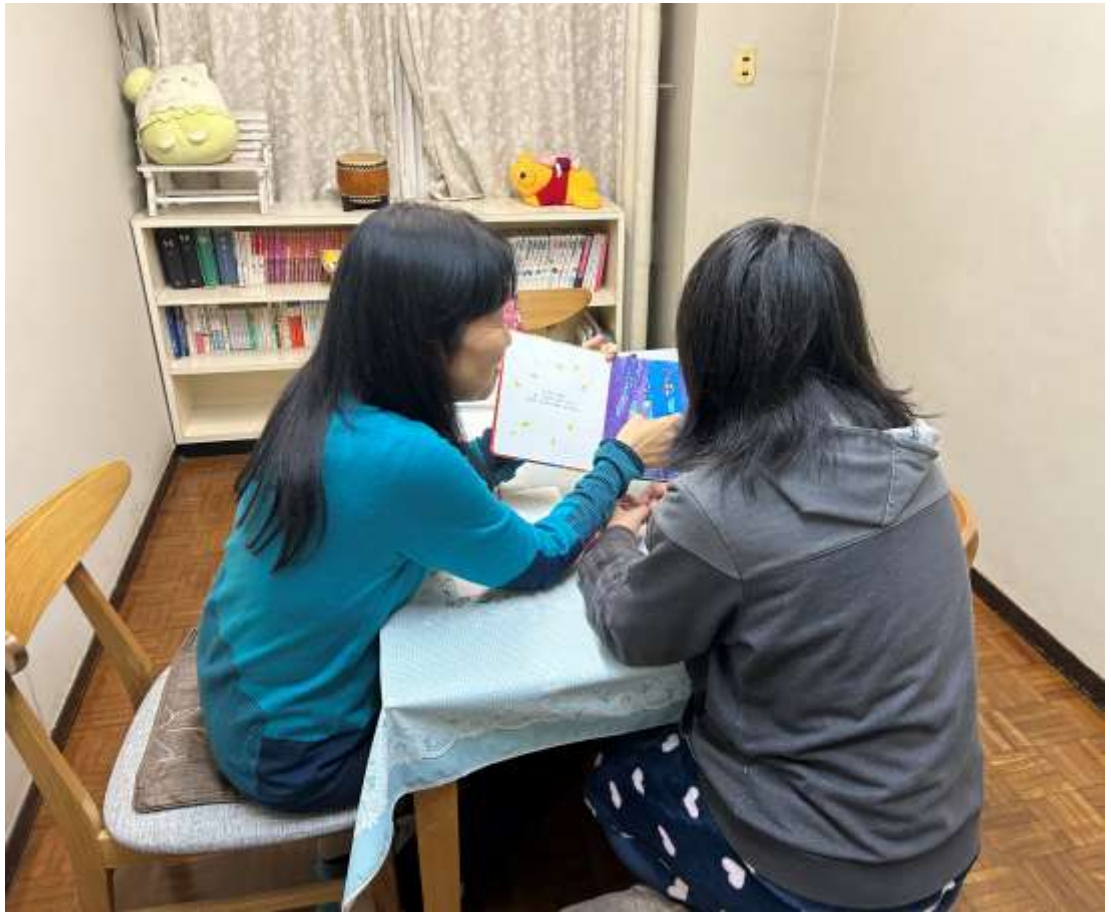


チーム	主な参加者	内容	特徴
幼児チーム	幼児＋大学生＋市職員＋パペット	絵本の1対1読みあい	ものがたりとの出会い共感および安心感を重視
小学生チーム	小学生＋臨床心理士＋作家＋大学生	絵本＋表現ワーク	個別支援と表現

幼児チームの活動と変化



小学生チームの活動と関係の変化



表現ワークの試み

- 表現ワークとは：ケアするものとケアされるものが「共に感じあう関係」になることを目指して、独自に開発されたもの。
- 絵本の読みあいと連動させた詩の創作や、国内外の画家に協力してもらって作成したワークブックを用いた表現活動を行っている。

８つのワーク

しらとあきこ　「ヒミツをうめたら」

こしだミカ　「こうらのもようは？」

小川すはる　「ふしぎなふしぎなナミダのチカラ」

こしだミカ　「のっけてみる？」

こしだミカ　「おめんをつけたら」

近藤薫美子　「見えない世界に行ってみよう」

さげさかのりこ「どこ？　ここ」

佐藤真紀子　「容れちゃおう」

ヒミツをうめたら

こうらのもようは？

ふしぎなふしぎなナミダのチカラ

表現ワークの成果紹介

詩の創作

- Aちゃん「名前をつけたよ」（自分の中にある“失われたつながりへの祈り）

ワークブックへの取り組み

- Bちゃん「見えない世界に行ってみよう」（回数を重ねて自分の心の奥の物語を完成させていく）

なまえをつけたよ

どうぶつになまえをつけたことがあるよ

50回くらいあるよ。

のらねこに、めちゃくちゃ、つけたよ

5歳のころに、50匹くらいつけたんだ

3匹だけなまえを覚えているよ

ミーシャ、メス。白いネコ

なんだっけな・・・アリス、メス。黒と白

さいごは、ハルト、オス。トラもよう

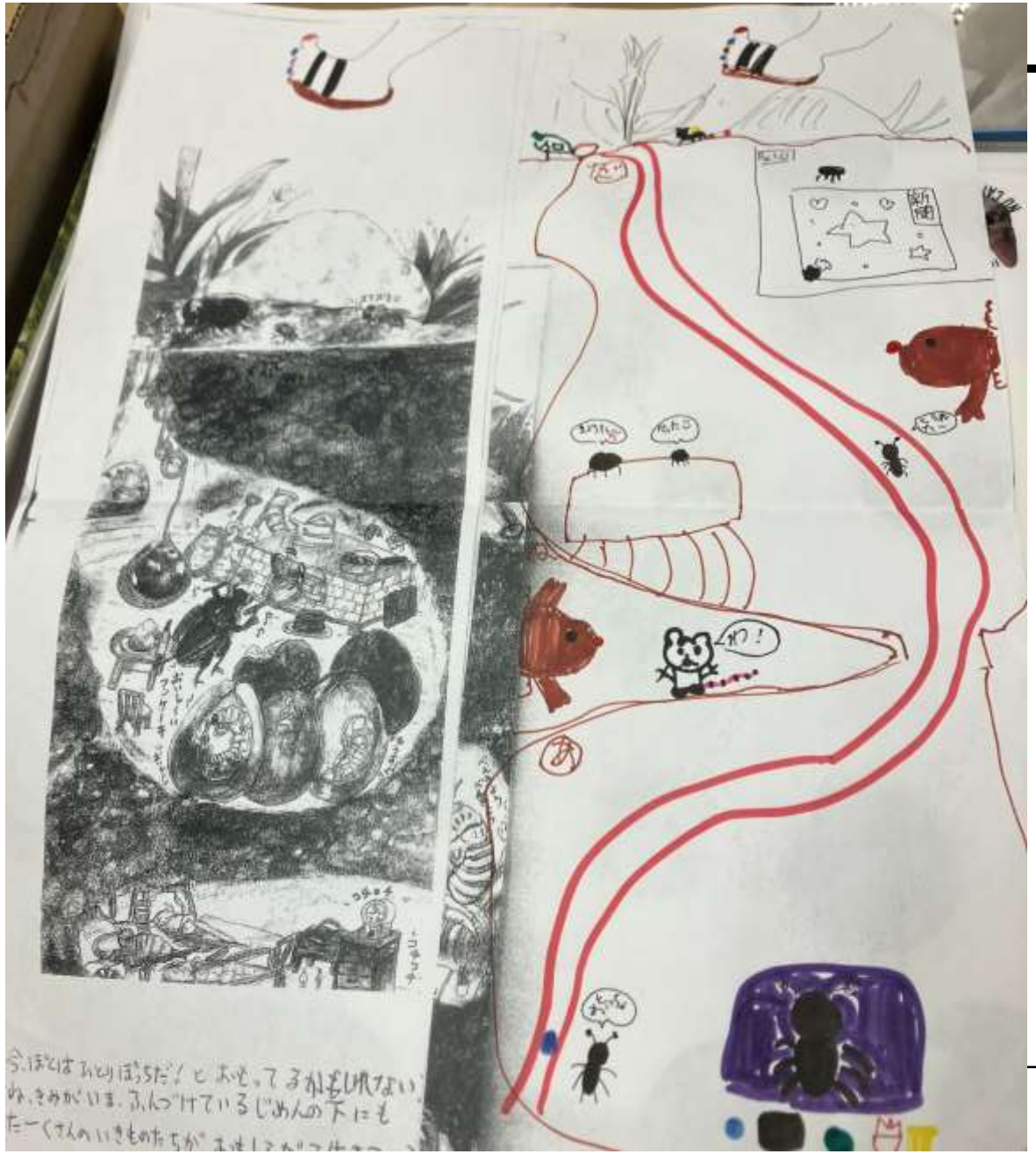
今急に思い出した。　もし今出会ったら、きっとわかる

3匹は、わたしのこと、わかんないと思うけどね

めちゃ、時計の針の音がする。

I’ve named animals before.

I’ve named animals before.
Maybe… fifty times.　　Stray cats — I named so many of them.
When I was five,　I gave names to about fifty cats.
I remember only three.
Misha — a girl, white.　Alice — a girl, black and white.
And the last one… Haruto.　A boy, with tiger stripes.
I just remembered them. Suddenly.
If I met them now,　I’d know them right away.
But I don’t think　they’d know me.
The ticking of the clock —is so loud.



Bちゃんのワーク

- 裸足の足にサンダルを履かせた
- ダンゴムシとアリの部屋
- 新たな動物が登場
- モグラとネズミの出会い
- 3回の時を重ねて、こころの世界を表現し、創作が広がった

これからの展望

- “文学 × ケア × 表現” の力を社会全体に循環させていくシステムを構築していく。

- 具体的な活動の展開：
  聖園子供の家から、地域・教育現場全体へ。
  さらにさまざまな人や場所へ。
- システムに関わる人材の育成。

みーんなで

ご清聴ありがとうございました